

# 令和元年度決算報告 平川市の家計簿



平川市の令和元年度決算が9月議会において認定されました。決算は、普通会計・特別会計・企業会計の3種類からなり、1年間にどれだけの収入があり（歳入）、それがどのように支出されたのか（歳出）を分類して集計したものです。ここでは、その概要についてお知らせします。

## 普通会計

**一般会計**  
基本となる資金

+

・学校給食センター特別会計  
・尾上地区住宅団地温泉事業特別会計  
など

普通会計とは、他の市町村と比較できるように経理の範囲が定められた標準的な会計です。当市では、一般会計に学校給食センター特別会計、尾上地区住宅団地温泉事業特別会計などを加えたものを普通会計としています。

## 特別会計

・国民健康保険  
・介護保険 など、  
特定の用途に使われる資金

特別会計と企業会計は、特定の事業を行う目的でそれぞれ個別に経理するものです。

## 企業会計

・水道事業  
・下水道事業

## 普通会計

歳入総額

215億8,400万円

歳出総額

208億5,172万円

区分/決算額	内容と主な事業
自主財源 20.9%	市税 11.3% 24億4,111万円 皆さまが納めた税金です。 ■市民税 / 10億2,595万円 ■固定資産税 / 10億8,758万円 ■軽自動車税 / 1億1,602万円 ■たばこ税 / 2億864万円 ■入湯税 / 292万円 市民1人当たりによると 78,903円 ※令和2年3月末の人口30,938人で計算。
	負担金・使用料など 9.6% 20億6,773万円 特定のサービスを受ける人に負担してもらったお金（保育料など）や施設使用料、住民票発行手数料、学校給食収入、繰越金などです。
	地方議与税など 4.1% 8億7,485万円 国が徴収した自動車重量税などのうち、一定基準が市に交付されます。
依存財源 79.1%	地方交付税 34.1% 73億8,013万円 市税収入の少ない市でも、市民に一定水準のサービスが行えるよう、国税（所得税、酒税、法人税、消費税、地方法人税）から一定の基準により交付されたお金です。
	国庫支出金 11.5% 24億8,030万円 市が行う事業に対し、国が補助したり負担したりするお金です。
	県支出金 6.0% 12億9,903万円 市が行う事業に対し、県が補助したり負担したりするお金です。
	市債 23.4% 50億4,085万円 多額の経費がかかる事業を行うために、国や銀行から新たに借りたお金です。

区分/決算額	内容と主な事業
総務費 15.5% 32億2,216万円	庁舎の管理、徴税、まちづくりなどに支出しました。 ■本庁舎建設事業 / 7,237万円 ■碓ヶ関総合支所・公民館移転統合改修事業 / 3億2,329万円 ■すこやか住宅支援事業補助金 / 2,564万円
民生費 27.0% 56億3,189万円	お年寄りや障がいのある方、生活保護、子育て支援などに支出しました。 ■保育対策事業 / 14億724万円 ■老人福祉対策事業 / 11億4,283万円 ■障がい福祉対策事業 / 10億2,154万円 ■生活保護費 / 6億4,770万円 ■こども医療費給付費 / 9,208万円
衛生費 4.3% 9億12万円	ごみ処理や火葬場の維持、病気の予防、環境保全などに支出しました。 ■ごみ・し尿処理事業 / 2億9,484万円 ■診療所特別会計繰出金 / 7,813万円
農林水産業費 5.5% 11億4,147万円	農業の振興などに支出しました。 ■平賀農村環境改善センター大規模改修事業 / 2億3,755万円 ■中山間地域等直接支払交付金 / 1億2,937万円 ■多面的機能支払交付金 / 1億2,559万円
土木費 5.7% 11億8,425万円	道路や公園の整備などに支出しました。 ■道路新設改良・側溝整備事業 / 1億8,785万円 ■市道除雪委託事業 / 1億3,436万円
消防費 4.7% 9億8,135万円	消火活動、救急救命などに支出しました。 ■弘前地区消防事務組合負担金 / 6億7,687万円 ■平川消防署碓ヶ関分署新築事業 / 1億3,636万円
教育費 23.6% 49億2,787万円	小中学校、公民館、生涯学習などに支出しました。 ■市民体育館整備事業 / 26億1,376万円 ■猿賀小学校改築事業 / 4億7,214万円 ■平賀東小学校改築事業 / 2億6,110万円
公債費 9.4% 19億6,175万円	借金の返済に支出しました。 ■長期債元金 / 19億2,587万円
その他 4.3% 9億86万円	雇用対策、議会の運営、災害復旧などに支出しました。 ■商工業振興事業 / 3億8,781万円 ■観光振興事業 / 3億1,851万円 ■議会運営費（議員報酬など） / 1億5,465万円 ■災害復旧事業 / 1,627万円

## 特別会計・企業会計

特別会計		
会計名	歳入	歳出
国民健康保険	37億5,073万円	37億2,210万円
介護保険	38億6,872万円	38億6,804万円
後期高齢者医療	2億9,719万円	2億9,260万円
診療所	2億2,147万円	2億2,147万円
簡易水道	377万円	377万円

企業会計			
会計名		歳入	歳出
水道事業	収益的	5億9,494万円	4億5,001万円
	資本的	151万円	2,827万円
下水道事業	収益的	10億9,335万円	9億7,716万円
	資本的	2億3,041万円	6億4,755万円

## 市の財政の健全度は？

自治体の決算について、財政の健全度は次の4つの指標で判断することができます。平川市は、昨年に続き「実質赤字比率」・「連結実質赤字比率」の赤字や、「将来負担」がなく、「実質公債費比率」が基準を下回っており、市の財政は健全な状態といえます。

健全化判断比率 (単位：%)				
指標	平川市の比率	平川市の前年比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	13.30	20.0
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	18.30	30.0
実質公債費比率	10.2	11.7	25.0	35.0
将来負担比率	負担なし	負担なし	350.0	

<項目の説明>

- ①実質赤字比率…普通会計などの赤字が経常的な収入に占める割合
- ②連結実質赤字比率…すべての会計の赤字が収入に占める割合
- ③実質公債費比率…地方債(国や銀行などからの借入金)の返済額が収入に占める割合
- ④将来負担比率…将来負担することになっている負債額が経常的な収入に占める割合

## 公営企業の経営状態は？

公営企業(「水道事業」や「下水道事業」などの皆さんからの料金収入などによって運営されている事業)の経営状態が健全なのかどうかは、事業規模に対する経営資金の不足額の大きさを表す「資金不足比率」で判断します。平川市では、各会計で資金不足は生じませんでしたので、こちらも健全な状態にあるといえます。



資金不足比率 (単位：%)			
会計の名称	平川市の比率	平川市の前年比率	経営健全化基準
水道事業会計	資金不足なし	資金不足なし	20.0
下水道事業会計	資金不足なし	資金不足なし	
簡易水道会計	資金不足なし	資金不足なし	

## 平川太郎さんちの家計簿

普通会計決算額をイメージしやすいよう、実際の家計簿におきかえてみました。



収入	決算上の区分	金額
給料	市税	34万円
パート収入	負担金、使用料など	2万円
入学祝や饗別など	諸収入など	27万円
親からの援助	地方交付税・国県支出金	167万円
新たなローン	市債	70万円
収入合計		300万円

※「年収300万円の世帯」の場合

支出	決算上の区分	金額
食費	人件費	31万円
光熱水費、日用品代	物件費	28万円
医療費、保育料など	扶助費	53万円
小遣い、冠婚葬祭	補助費など	31万円
リフォームや車購入	普通建設事業費など	84万円
ローンの返済	公債費	27万円
貯金	積立金	9万円
子どもへの仕送り	投資、貸付、繰出金	27万円
支出合計		290万円

※300万円－290万円＝10万円(黒字)は来年度に繰り越すことにします。